

## 会 議 録

会議名	令和4年度 第3回田名地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 田名まちづくりセンター 電話042-761-0056 (直通)		
開催日時	令和4年7月12日(火) 19時00分～20時20分		
開催場所	田名公民館 大会議室		
出席者	委員	17人(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	2人(田名まちづくりセンター所長、地域政策担当)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 一部不可
	傍聴者数	0人	
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 親子、地域で楽しめるイベント(取組み)について ・進め方の説明 ・グループワーク (2) その他 ・8月の会議日程について 4 閉会		

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

### 1 開会

### 2 あいさつ（代田会長）

### 3 議題

#### （1）親子、地域で楽しめるイベント（取組み）について

グループ毎に「子どもを対象とした事業（イベント）のアイデア」について検討を行い、討議後、各班でどのような意見等があったかを発表した。

グループ討議の結果については、8月のまちづくり会議役員会にて整理等を行い、8月23日（火）の第4回まちづくり会議定例会にて報告して検討することにした。

#### 【A班】

木下 國博（青少年健全育成協議会）

江成 陽子（民生児童委員協議会）

外岩戸 満里子（連合婦人会）

田所 昌訓（田名財産管理委員会）

平井 佑介（PTA三校合同会議）

浅見 泰子（わかかな会田名地区）

#### 【B班】

田所 恒男（地区社会福祉協議会）

花房 博文（自治会連合会）

渡邊 さよ子（連合婦人会）

小島 昭二（老人クラブ連合会）

矢口 君代（田名地域包括支援センター）

#### 【C班】

大谷 政道（田名公民館）

篠崎 定夫（自治会連合会）

志村 勝美（公共交通整備促進協）

篠崎 隆司（田名地区防犯協会）

大谷 京子（JA相模原市田名支店運営委員会）

※各班書記：代田会長及び事務局（2名）

〈各班の主なアイデア〉

#### 【A班】

##### ○小規模な運動会

⇒小学校低学年までの子であれば親が同伴する。子ども年齢の到達によって、自然と新たな参加者が加わることが見込めるイベントが良い。

⇒最近は新型コロナウイルスの影響で運動会の規模（競技種目）が縮小しているの  
で興味を引くのではないか。これが好評で継続イベントになれば、運営のお手伝  
いを保護者に呼び掛けることで、地域団体への直接的な加入促進ではないものの、  
地域におけるつながりが生まれてくる。

#### ○田名っ子フェスティバル

⇒今年度は開催する予定で、少年野球、サッカー、鼓笛隊等の団体の体験会を催す  
予定である。これらの団体も加入者が減少しているという問題があり、一堂に会  
することで人が呼べると考えた。地域活動団体の出展も可能であるので、加入促  
進の機会と捉えていただきたい。

#### ○中高生向けイベント

⇒今の時代は、中高生の遊び場がないという問題がある。

#### ○ふれあい動物園

⇒コロナ禍でも開催できる。他で開催したところ参加者に好評だった。

### 【B班】

#### ○相模川の活用

⇒『転がし（相模川本流の横に溝を掘り、竿に針3本程度下げて釣るもの）』が最高  
に面白い。

⇒自分の幼少期での川遊び体験が記憶に残っている。今は「川が危ない」と言って  
自己規制してしまっている。

⇒公園で大声が出せないのであれば、川で『大声大会』をやったらどうか。

#### ○田名の歴史

⇒田名の散策マップを活用し、各自治会区域又は近隣自治会区域で親子散策できる  
機会を企画したらどうか。

⇒親子だけでなく高齢者も田名の歴史を学びながら様々な地域の人と関われば良  
い。

#### ○子ども議会

⇒子ども（小学生、中学生、高校生）が自ら「何をしたいか」を考えてもらうことは  
できないか。30万円程度の子算の中で使途から実現方法までを子ども達が自ら  
考える、子ども議会の取組をしている山形県遊佐町の事例がある。

⇒今の子どもは何をしたいか聞いても体験したことがないと分からないのではない  
か。いくつか用意して選んでもらうと良い。

## 【C班】

### ○相模川の活用

- ⇒子どもが川に遊びに行くことに対し「川は危ない」と親が止めてしまい、子どもが「川が危ない」ことを知る機会がなくなっている。「川が危ない」ことを教えないと将来重大事故につながるおそれもある。
- ⇒『キャンプ教室』はどうか。今、キャンプが流行っている。器具の使用法だけでなく、マナーも教えてもらえとなれば喜ばれるのではないか。河原や望地キャンプ場を活用できる。
- ⇒『鬼ごっこ』はどうか。子どもに大変人気があるテレビ番組もある。
- ⇒子どもにとっては『河原をただ歩く』だけでも貴重な体験となるのではないか。

### ○農地の活用

- ⇒田名には広い農地がある。近所の農家さんや専門家の指導の下、親子で『自給自足体験』や『農業体験』はどうか。
- ⇒昔は各小学校に農園があって農作物のことを学ぶ機会があったが、今の小学生は農作物のことを知る機会がないため、それを教えられるようなイベントができな
- ⇒田名では、田名畑の会が高齢者を対象として農園を運営している。
- ⇒広い土地があるので農道で『駅伝大会』することも面白い。

### ○ふれあい動物園

- ⇒小動物を連れてきて、小さな子が動物と触れ合える機会は良い。

### 〈その他意見等〉

- ・子どもだけが参加するのか、親も一緒に参加できるのか、小学生、中学生、高校生どの年代を対象とするのか、色々と検討することはある。
- ・自治会加入率向上を最終目的とするのであれば、イベント参加した子どもが満足するだけでは目的達成とは言えない。いかにその保護者の加入につなげていくかを検討する必要がある。また、未加入である原因も突き詰めなければならない。
- ・自分の団体イベントの参加者募集は会員の口コミで行っているため、そのネットワークを活用したイベント周知は可能である。
- ・子どもやその保護者に対して、どのようなイベントなら楽しめるのか、参加したいと思ってもらえるのか、アンケートで聞いてみたい。
- ・各団体が加入促進するという意識ではなく、地域住民が集まることで、より地域が活性化し、住民同士のつながりが生まれていくような取組みをしたい。
- ・田名には清水や半在家のお囃子などの昔からある伝統的なものがある。

- ・田名の良いところを取り込んだイベントが良い。参加する者だけでなく運営する者も楽しいと思わないと継続しない。

(2) その他

- ・次回会議は、当初日程を変更し、8月23日（火）19時からとする。

4 閉会（木下副会長）

以 上

## 令和4年度 第3回田名地区まちづくり会議委員名簿（敬称略）

令和4年7月12日

	団体名	役職	氏名	出欠
1	田名地区自治会連合会	会長	代田 修	○
2		副会長	花房 博文	○
3		副会長	篠崎 定夫	○
4	田名自治会連合婦人会	会長	外岩戸 満里子	○
5		副会長	渡邊 さよ子	○
6	田名公民館	館長	大谷 政道	○
7	田名地区社会福祉協議会	会長	田所 恒男	○
8	田名地区民生委員児童委員協議会	会長	江成 陽子	○
9		書記	首藤 幸治	
10	田名財産管理委員会	会長	田所 昌訓	○
11	田名地区公共交通整備促進協議会	顧問	志村 勝美	○
12	田名地区防犯協会	会計	篠崎 隆司	○
13	田名地区青少年健全育成協議会	会長	木下 國博	○
14	P T A 田名中学校区三校合同会議	代表（田名小学校 P T A 副会長）	平井 佑介	○
15	田名地区老人クラブ連合会	会長	小島 昭二	○
16	J A 相模原市田名支店運営委員会	市農協理事	大谷 京子	○
17	田名地区ボランティアグループ	代表（市食生活改善推進団体 わかな会田名地区）	浅見 泰子	○
18	田名地域包括支援センター	センター長	矢口 君代	○
19	有識者			

出席（○） 17

欠席（ ） 1

合計 18